

平成30年3月期 (2017年度:第21期) 第2四半期決算説明会

平成29年11月1日

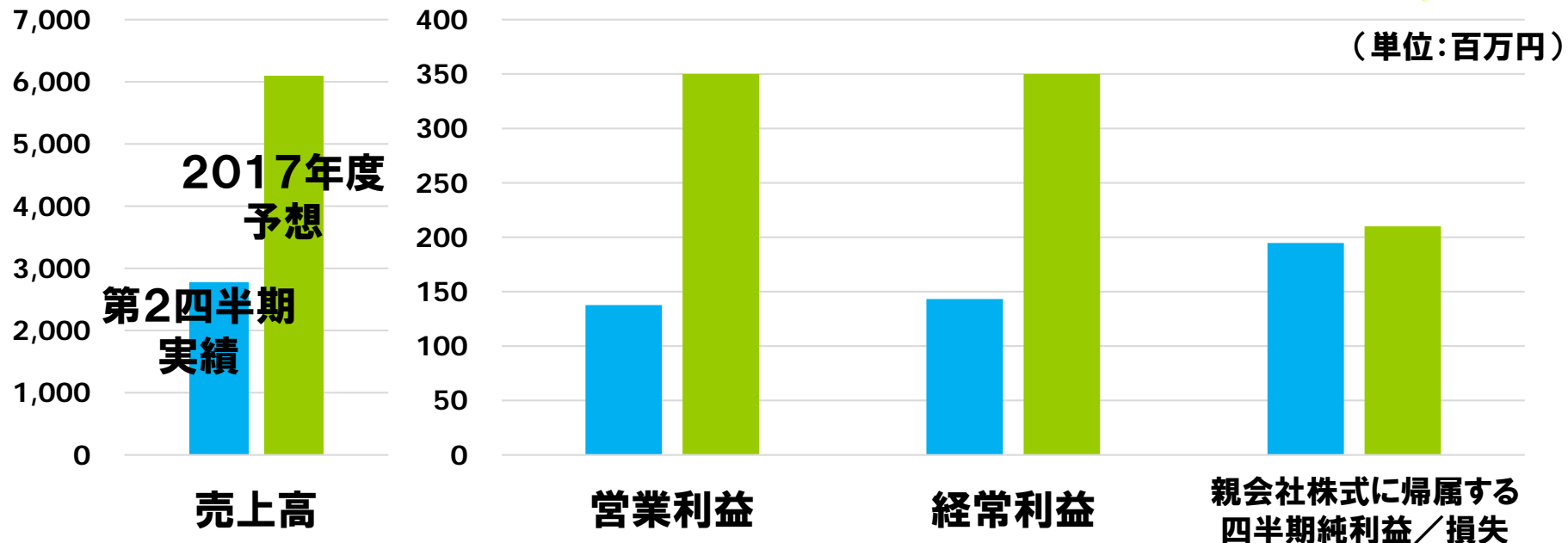
株式会社Jストリーム

※当資料に記載されている業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合がありますので、この業績予想に全面的に依拠して投資などの判断を行うことは差し控えて下さい。

20th
ANNIVERSARY

もっと素敵な伝え方を。
Jstream

2017年度 第2四半期実績ハイライト



	2016年度	2017年度			
	前期実績	2Q実績	対前期増減	通期予想	進捗率
売上高	2,605	2,770	+6.3%	6,100	45.4%
営業利益	118	137	+16.1%	350	39.2%
経常利益	123	143	+16.3%	350	40.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益/純損失	63	194	+208.3%	210	92.7%

四半期決算 連結損益計算書

	2016年度Q2		成比)増減率	2017年度Q2	
売上高	2,605,795	100%	6.3%	2,770,921	100%
売上原価	1,504,140	57.7%	8.7%	1,635,645	59.0%
売上総利益	1,101,655	42.2%	3.0%	1,135,276	40.9%
販売費及び一般管理費	983,583	37.7%	1.4%	998,213	36.0%
営業利益	118,071	4.5%	16.0%	137,062	4.9%
経常利益	123,225	4.7%	16.2%	143,298	5.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益／純損失	63,141	2.4%	208.3%	194,670	7.0%

受注動向

- ◆ 医薬系ライブ配信の受注が順調。配信部門が売上利益を牽引。子会社含め制作・システム開発は前年よりやや弱い。

内的要因

- ◆ ライブ関連増、制作子会社の人員減補填による外注費増等に伴い原価率上昇。販管費は前年並みで利幅拡大に貢献。

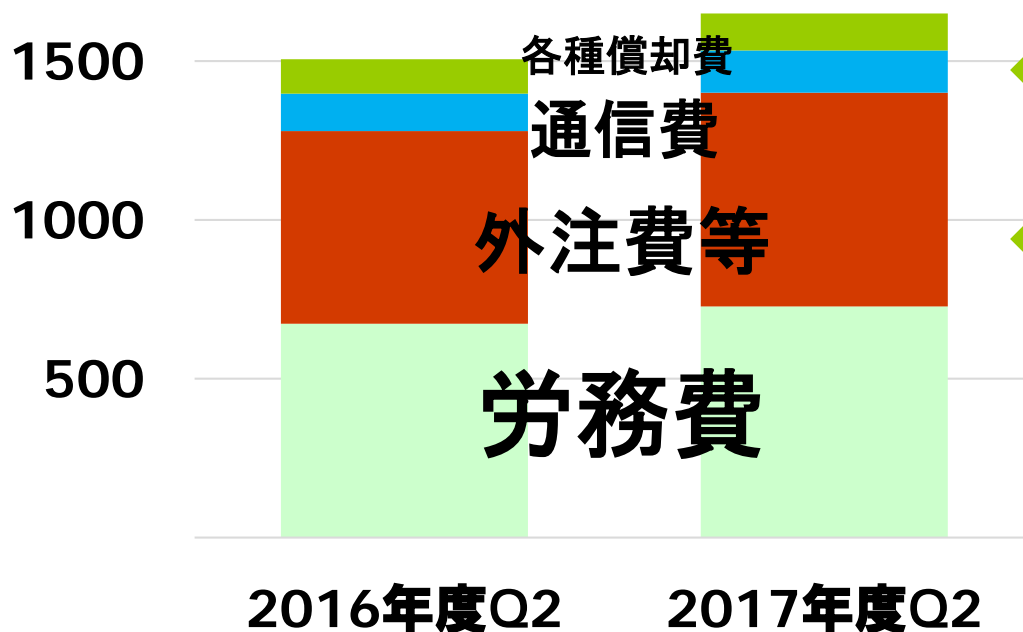
連結バランスシート

(単位:千円)



		2016年度末	主な変動要因	2017/9月末
資産の部	流動資産	3,483,369		3,418,153
	固定資産	922,351	建物附属設備+19M リース資産+23M	1,195,462
	有形固定資産	297,244		344,743
	無形固定資産	542,316	ソフトウェア +91M (EQ機能等開発開始分)	674,807
	投資その他の資産	152,790		175,911
資産合計		4,475,720		4,613,615
負債の部	流動負債	708,163		687,171
	固定負債	85,465	未払金 Δ70M (各種代金/外注費等支払実施) 買掛金 +22M 前受金 +60M (イノコス社)	116,448
純資産の部	株主資本	資本金		2,182,379
		資本剰余金		626,241
		利益剰余金		1,093,268
		自己株式		Δ459,221
	評価・換算差額等	248	リース債務+18M	257
	非支配株主持分	239,175		235,218
純資産合計		3,682,092		3,809,995
負債・純資産合計		4,475,720		4,613,615

売上原価(連結)主要項目

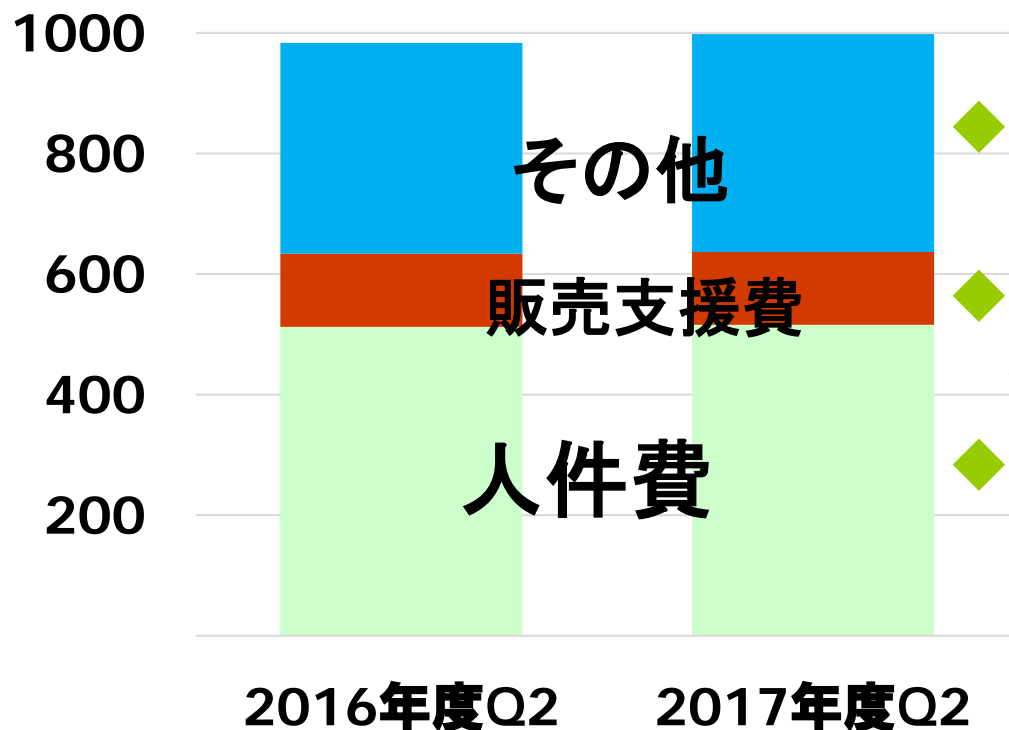


- ◆ライブ関連や、開発系中心に採用推進(配信本部)。
- ◆制作系連結子会社の解散(3月末)及び人員減に伴いグループでは大きな増加となっていない。

- ◆ライブ案件増や子会社の減員補填に伴い外注費増加

	2016年度Q2 構成比		増減率	2017年度Q2 構成比	
労務費	673	44.8%	8.0%	727	44.5%
外注費等	606	40.3%	10.9%	672	41.1%
通信費	117	7.8%	12.9%	132	8.1%
各種償却費	108	7.2%	7.3%	116	7.1%
その他振替等	△1	—	—	△14	—
売上原価合計	1,504		8.7%	1,635	

販売費及び一般管理費(連結)主要項目

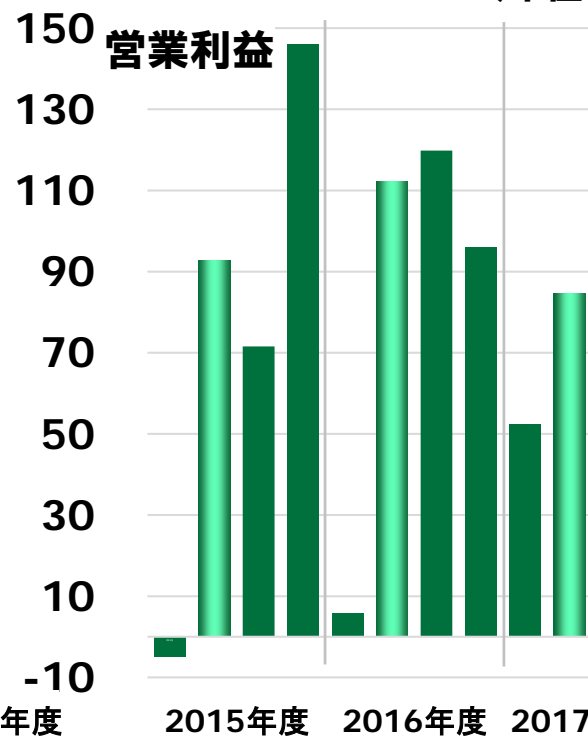
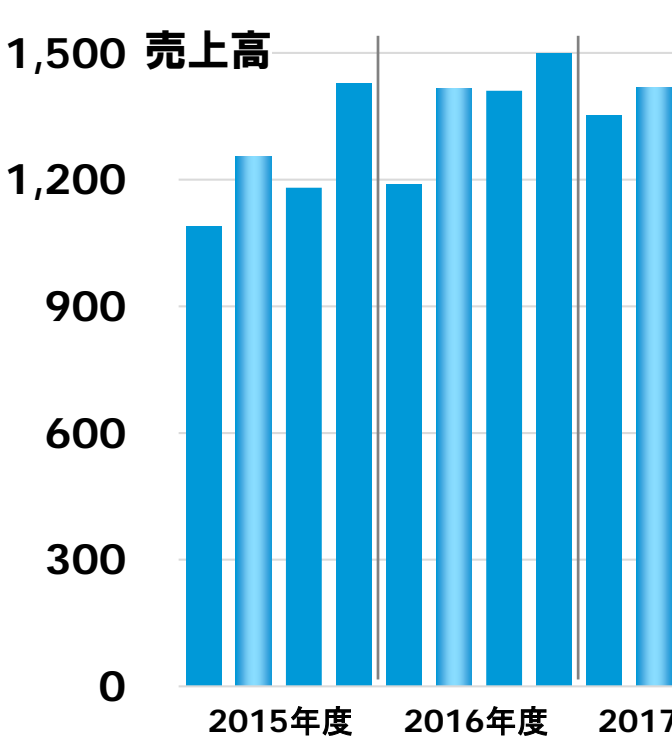


- ◆ 設立20周年を迎えたことに伴いブランディング施策を展開。
- ◆ 西日本営業所移転(5月)に伴い若干の費用負担有り。
- ◆ 間接部門の人員数など、その他の項目に大きな変動はない。

	2016年度Q2 構成比		増減率	2017年度Q2 構成比	
人件費	512	52.1%	0.6%	515	51.7%
販売支援費	121	12.4%	△0.6%	120	12.1%
その他	349	35.6%	3.4%	361	36.2%
販管費合計	983		+1.4%	998	

四半期別売上、利益推移（連結）

（単位：百万円）

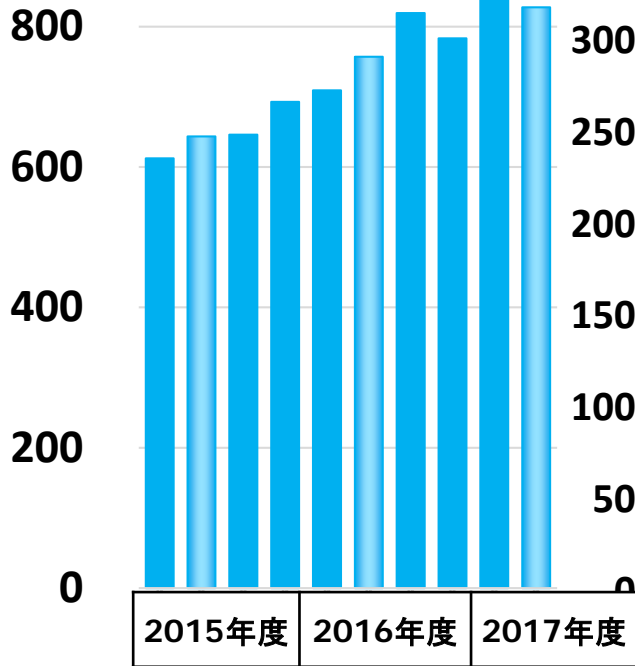


- ◆ 2Q単独では前年度並の実績
- ◆ 1Qに引き続き医薬系のライブ案件が売上増を牽引
- ◆ 制作子会社の販売が低調であり各種対応を進める

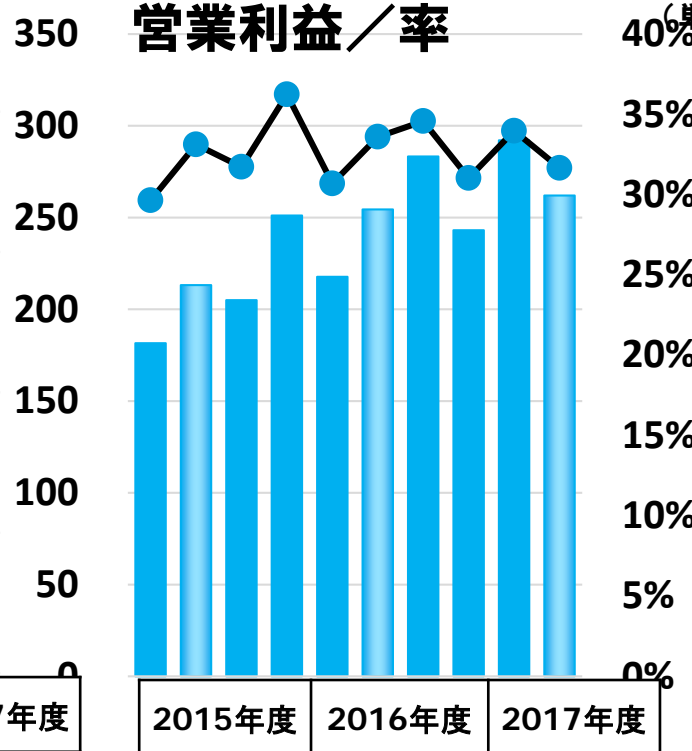
	2015年度				2016年度				2017年度	
売上高	1,089	1,255	1,180	1,429	1,189	1,416	1,410	1,505	1,352	1,418
営業利益	△4	92	71	146	5	112	119	95	52	84
純利益	△12	58	44	90	△4	67	77	65	127	66
売上高	2,345		2,610		2,605		2,915		2,770	
営業利益	87		217		118		215		137	
純利益	45		134		63		143		194	

セグメント売上・営業利益状況：配信事業

売上



営業利益／率

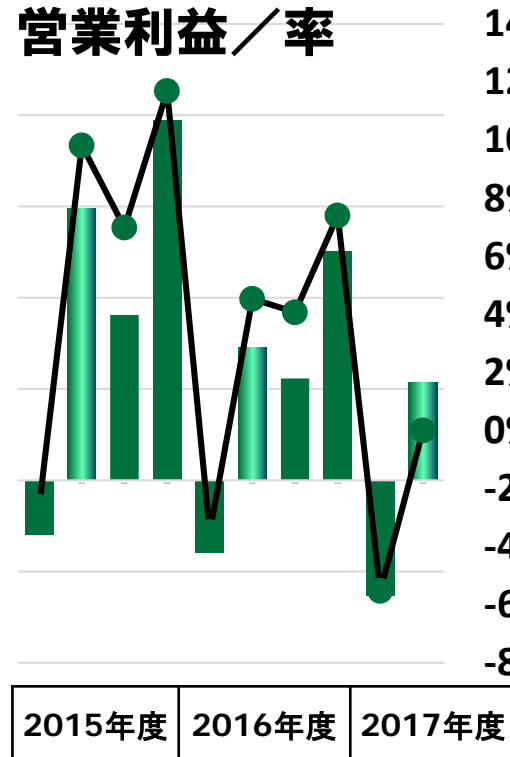
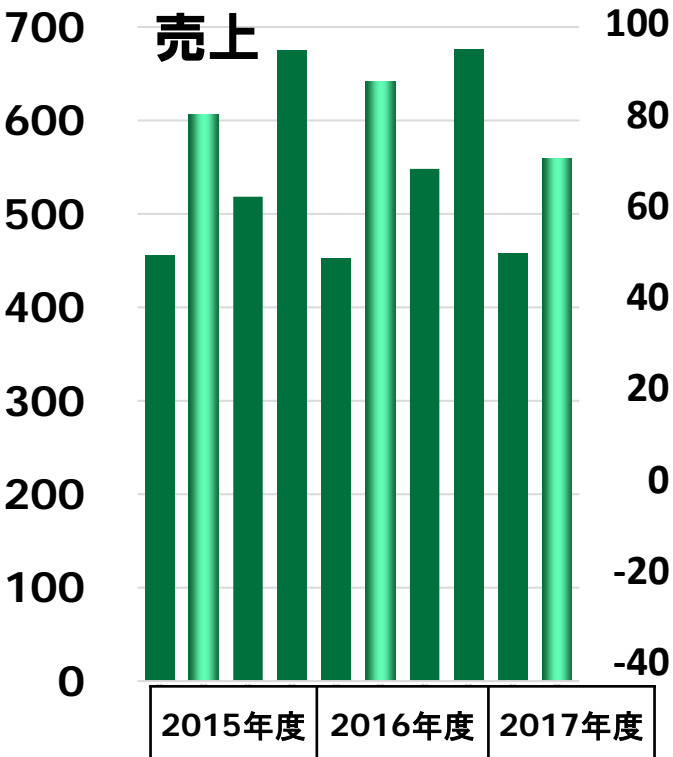


(単位:百万円、%)

- ◆ **引き続きライブが牽引**
2Qも1Qほどではないが医薬系ライブ配信の受注が順調。前年比+20%超
- ◆ **オンデマンド配信**
売上も前年比微増

	2015年度				2016年度				2017年度	
売上	612	643	646	692	709	757	819	783	859	827
営業利益	181	213	205	251	217	254	283	243	292	262
利益率	29.6	33.1	31.7	36.2	30.6	33.6	34.6	31.0	34.0	31.7
半期	1,255		1,338		1,466		1,602		1,687	
通期	2,594				3,069					

セグメント売上・営業利益状況：制作・システム開発事業

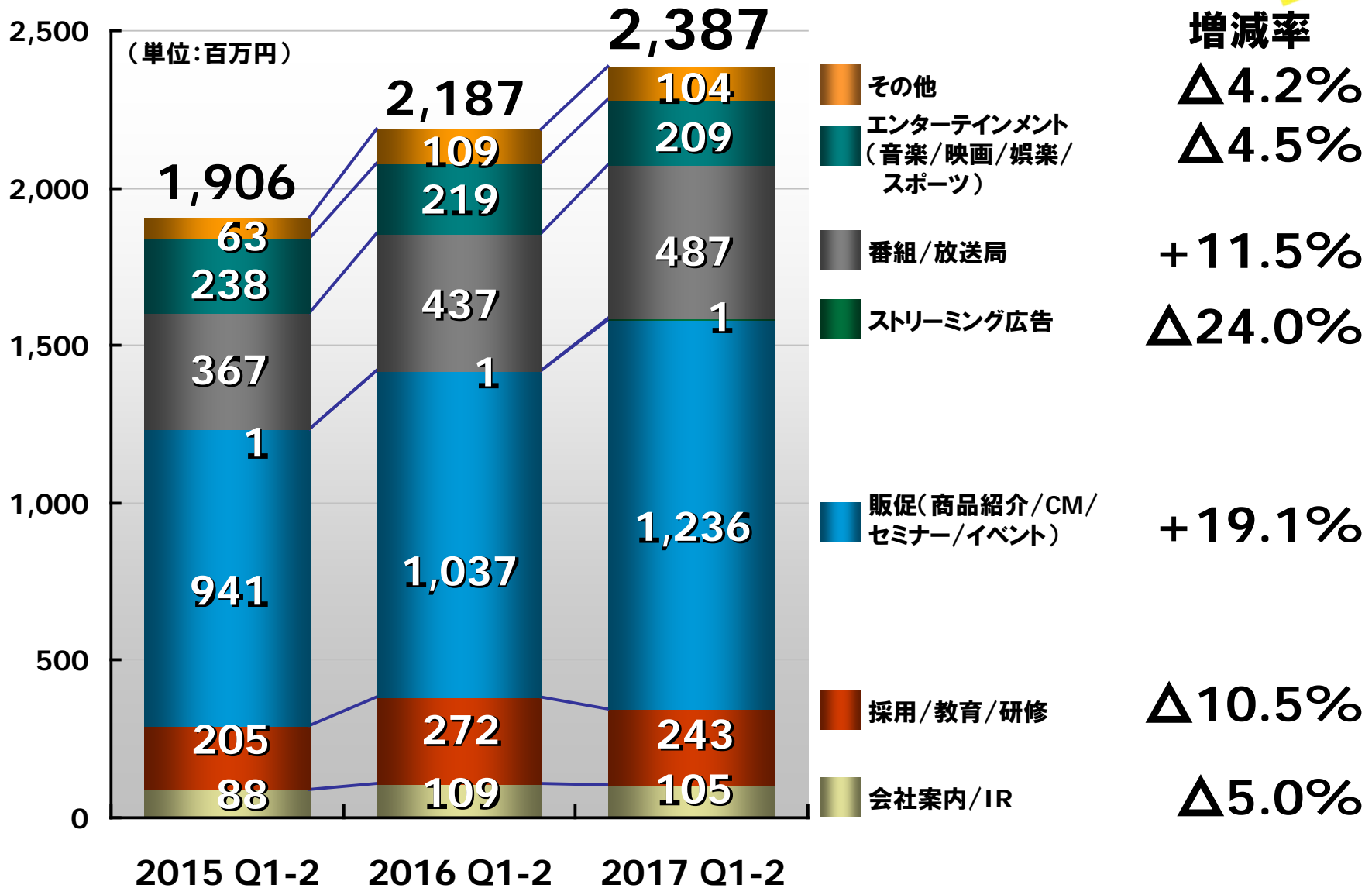


14% 単位：百万円、%

- ◆ WEB制作、映像制作ともに新規開拓進まず前年比横這い
- ◆ 映像制作子会社は苦戦。3月子会社解散の影響もあり前年比減
- ◆ 子会社の外注費増もあり利益率芳しくなく対策進める

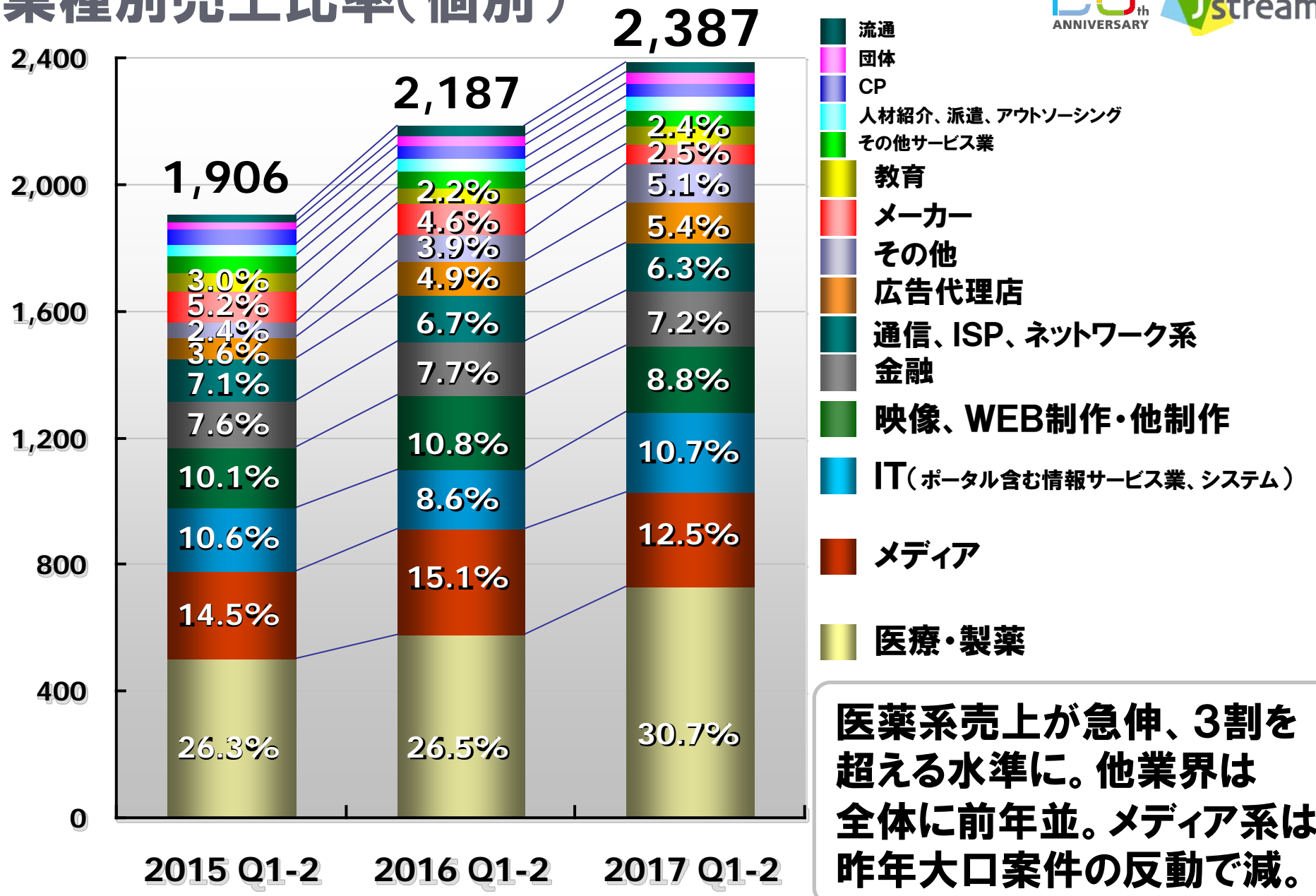
	2015年度				2016年度				2017年度	
売上	455	606	518	675	452	641	548	676	457	559
営利	△11	59	36	78	△15	29	22	50	△25	21
利益率	△2.6	9.8	7.0	11.7	△3.5	4.5	4.1	7.4	△5.5	3.8
半期	1,062		1,193		1,094		1,224		1,016	
通期	2,255				2,318					

用途別売上比率(個別)



◆ 医薬系の案件を中心に販促の増加額が大きい。

業種別売上比率(個別)



医薬系売上が急伸、3割を超える水準に。他業界は全体に前年並。メディア系は昨年大口案件の反動で減。

(単位:百万円)

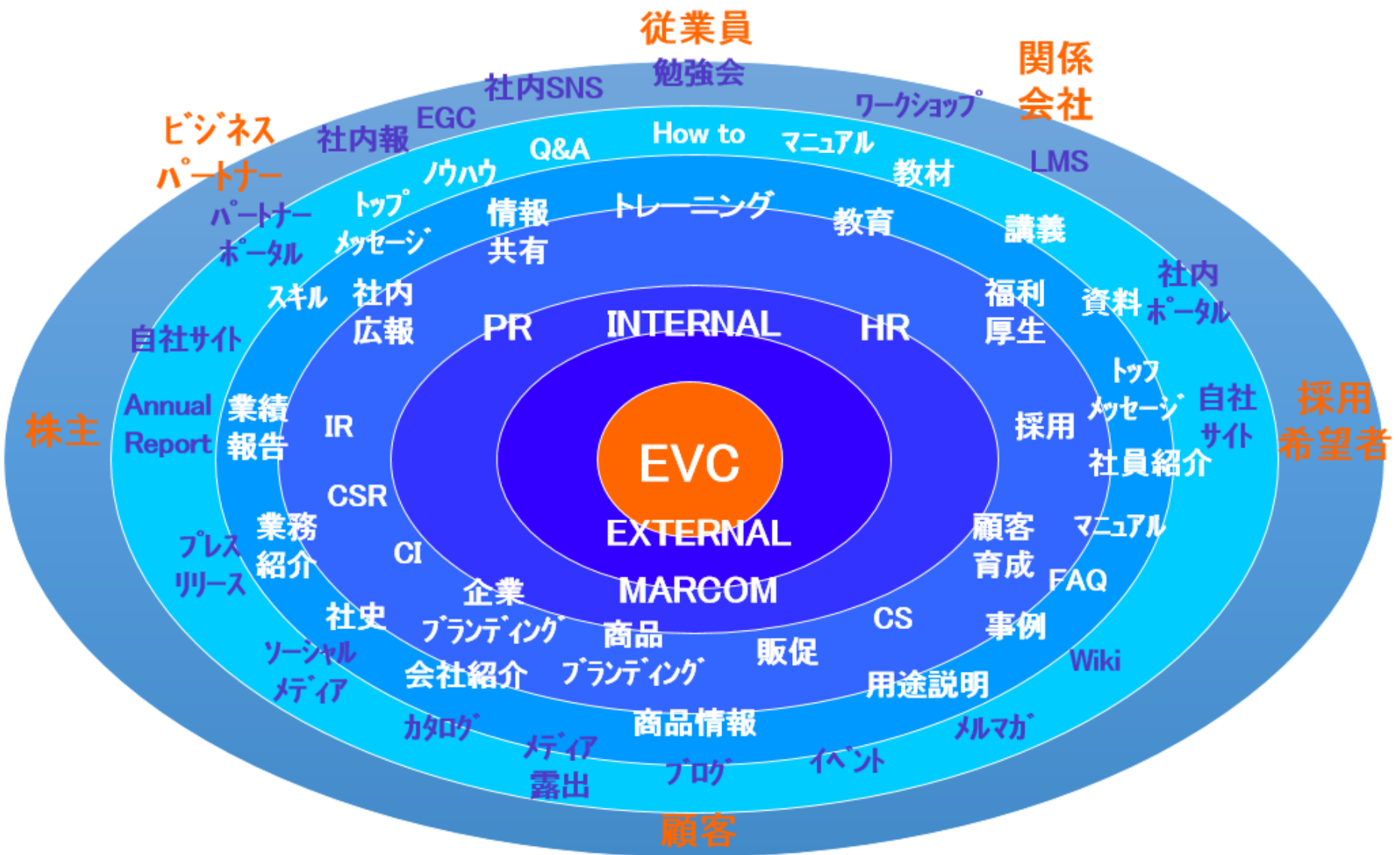
	投資項目	実施額 (年間予定額)
2017 年度	<p>■ 配信事業関連</p> <p>ネットワーク ハードウェア 60</p> <p>Equipmedia、CDNNext、ミテシル、 動画広告プレイヤー 他サービス関連 ソフトウェア 118</p>	263 (595)
	<p>■ 制作・システム開発事業関連</p> <p>ソフトウェア 1 スタジオ機材等 9</p>	
	<p>■ その他</p> <p>社内システム、オフィス関連等 全社設備 30</p>	
	<p>社内システムソフトウェア 43</p>	

経営方針と 最近のトピックス

**最先端の動画ソリューション提供会社で
あり続け、企業活動の支援を通じて
社会の発展に貢献する**

Enterprise Video Communications

今後益々広がる動画コミュニケーション



配信

前年比
110.0%

2016年度 2017年度

- ライブ配信: 医薬向けWEB講演会の成長が継続。2017年度は、サーバーサイドアドインサーション機能を追加しメディア業界に展開
- Equipmedia: Enterprise Video Communicationを軸に展開を継続。基本機能強化、マーケットプレイス等のサービス強化を図る
- CDNext: SSLアクセラレーター導入、WordPressプラグイン、GEOフィルタリング等の機能強化を推進
- その他: SI案件体制強化の為の人員増強

制作・システム開発

前年比
103.9%

2016年度 2017年度

- WEB制作: UI/UXプレイヤー整備、及び汎用性の高いCMS活用による差別化を図る
- 映像制作: 4K、5Kといった高画質映像対応の強化、リモートバーチャルスタジオといったDIY系サービス充実による顧客層拡大を図る
- システム構築: 配信、制作、運用、分析とPDCAを回す完結体制による差別化

広告関連

前年比
248.7%

2016年度 2017年度

- 動画広告: 動画メール広告、動画アドネットワーク、動画タイアップ、検索連動型広告で構成されるMovieADシリーズの展開の為、広告在庫の確保/動画マーケティング支援の為のオリジナル広告メニューの整備を図る
- 新規事業 配信、制作事業と親和性が高いものから事業展開を開始する

設立 :平成22年

所在地 :東京都品川区

**デジタルビデオ関連の機器ソリューションを提供する
技術商社の側面 / IPサイマル放送系のサービス基盤の
提供事業者の側面 を持つ**

**サービス内容がJストリームの事業領域と補完しあい、
Jストリームとしては 放送設備とIP配信関連技術の
インテグレーションノウハウ を短期間でグループ内に
取得することができる。**

- ◆ 営業上では「多チャンネル事業者」「CATV事業者」との
つながりが強い**

1. 「Expert」エディションを追加しメニューを多様化
高度な仕様への要望に対応

2. 全エディションでライブ機能を標準提供
社内外に向けたセミナーなど、企業のライブ配信への関心の
高まりに対応

iPhone/iPadで撮影している映像を、特別な機材を用意する
ことなくライブ配信できる無料のiOSアプリ「EQライブキャスト」を
あわせて提供

3. ストレージ
容量の大幅増
量などの基本
機能強化

エディション	Startup	Business	Expert new
月額費用*1	¥50,000	¥100,000	¥160,000
ストレージ容量	500GB up	2,000GB up	3,000GB
月間流量上限*2 (データ転送量)	300GB	1,000GB	1,500GB
ライブ機能	標準提供 new	標準提供 new	標準提供
合計同時ライブ接続数*3 同時ライブ開催数上限*3	同時50人 同時1ライブ	同時100人 同時1ライブ	同時2,000人 同時2ライブ

業績予想値

	2017年度		
	2Q実績	通期予想	進捗率
売上高	2,770	6,100	45.4%
営業利益	137	350	39.2%
経常利益	143	350	40.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益／当期純利益	194	210	92.7%

決算説明内容についてのお問い合わせは

【メール】

https://page.stream.co.jp/pr_inquiry.html
(お問い合わせフォーム)

【電話】

電話 03-5765-7744 (総務部広報IR課)

へお寄せください。